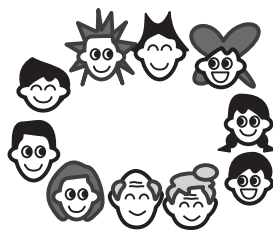


津谷歯科医院 口腔ケア新聞

N P O 法 人
訪問歯科診療
を広める会
賛 助 会 員



令和7年12月号

発行人:津谷歯科医院

院長:津谷良

住所:岡山市中区海吉1807-14

紙面に關するお問い合わせは下記まで

電話: 0120-779-418

配信代行:訪問歯科診療を広める会

皆さん、こんにちは！いかがお過ごしですか？

津谷歯科医院、院長の津谷良です。

開口障害とは、口を思いうように開けられない状態を指します。単なる「口が開かない病気」ではなく、食事や会話、歯磨き等、日常生活に支障をきたし、放置すると全身的な健康や社会生活にも影響を与える可能性のある疾患です。例えば、口を大きく開けられないことで、硬いものが噛めなくなったり食事がしづらくなったりして栄養不足や脱水を招くリスクがあります。また口の動きが制限されるため、発音が不明瞭になる等、会話がしにくくなることもあります。さらに歯ブラシをきちんと歯に当てられなことで磨き残しが増えて、むし歯や歯周病、高齢者なら誤嚥性肺炎のリスクが高まります。今回は、『開口障害の主な原因と治療法』についてご紹介します。

1. 開口障害の原因と治療法

(1) 顎関節症

顎関節や周囲の筋肉、靱帯のバランスが崩れることで生じます。症状は口を開けると痛い、口が開けにくい、関節からの「カクカク」等の音が特徴です。悪化すると口がほとんど開かなくなり、関節円板がずれて関節に引っかかることもあります。治療は消炎鎮痛薬、マウスピース装着、顎の運動療法やマニピュレーション(手技療法)で関節の動きを改善します。

(2) 筋肉の拘縮(咀嚼筋の緊張)

過度な筋肉の緊張やストレス、歯ぎしり等による筋肉の疲労が原因です。口を開けると顎周りの筋肉が硬く感じ、痛みを伴うこともあります。治療では温熱療法、筋弛緩薬の使用、マッサージやストレッチを行い、筋肉の緊張を和らげます。

(3) 炎症(顎関節周囲の感染や炎症)

顎関節や周辺組織の炎症で痛みが強く、腫れや熱感を伴い口が開けにくくなります。症状が強いと口がほとんど開かなくなることもあります。抗炎症薬、抗菌薬の投与が基本で、症状によっては関節腔洗浄

を行います。

(4) 外傷や手術後の瘢痕形成

顎や口周辺のケガや手術後の組織の硬直によって口の開きが悪くなります。傷跡の硬さや痛みがあり、動かすと違和感を感じることもあります。治療は、リハビリテーションで可動域を広げ、場合によっては外科的に瘢痕を切開することもあります。

(5) 破傷風

破傷風菌による筋肉の激しい硬直が特徴で、口が「開かない」ことが典型です。発熱や筋肉のけいれんも伴います。治療は早急に抗破傷風血清や抗菌薬の投与、呼吸管理等、専門的な医療が必要です。

2. 注意すべき主な症状

- ☑ 口が開けにくい・開かない
- ☑ 口を開ける時に痛みがある
- ☑ 顎を動かすとカクカク・コキコキと音がする
- ☑ 朝のこわばり・開けにくさ

指2本分より口が開かない状態や開口時の痛み・音が持続するような場合は、早めに歯科又は口腔外科を受診してください。

◆ 口が開けにくく感じたら放置せずに歯科・口腔外科を受診しましょう ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって



ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療の問い合わせやご依頼を受けるケースがとて増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね。」って話をしていたのに…。そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

津谷歯科医院

診療時間 9:00~12:30/14:00~18:30
(土曜日は16:30まで)

診療科目 歯科 小児歯科

休診日 木曜・日曜・祝祭日

院長 津谷 良

岡山市中区海吉1807-14

☎ 0120-779-418 FAX 0120-779-413

